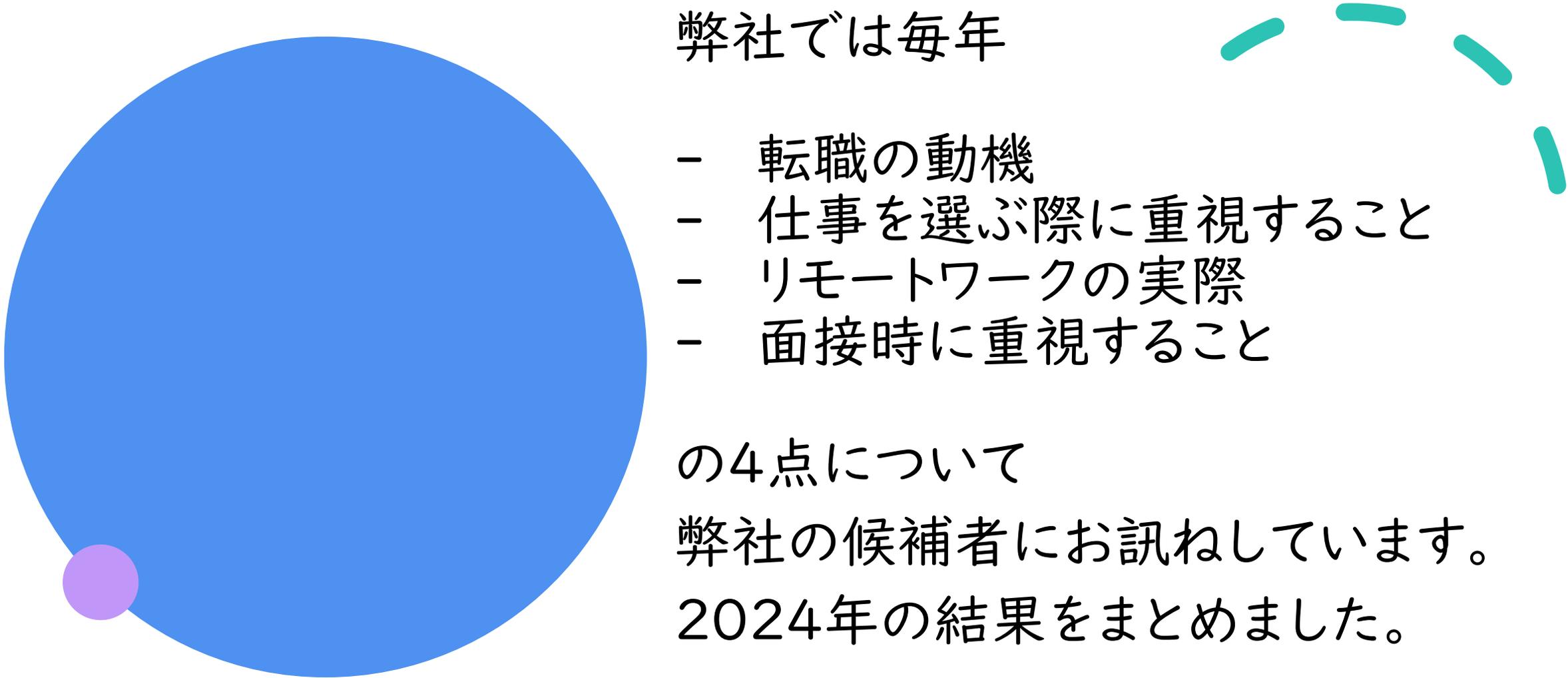


2024 年 求職者調査 レポート



peoplefirst



弊社では毎年

- 転職の動機
- 仕事を選ぶ際に重視すること
- リモートワークの実際
- 面接時に重視すること

の4点について

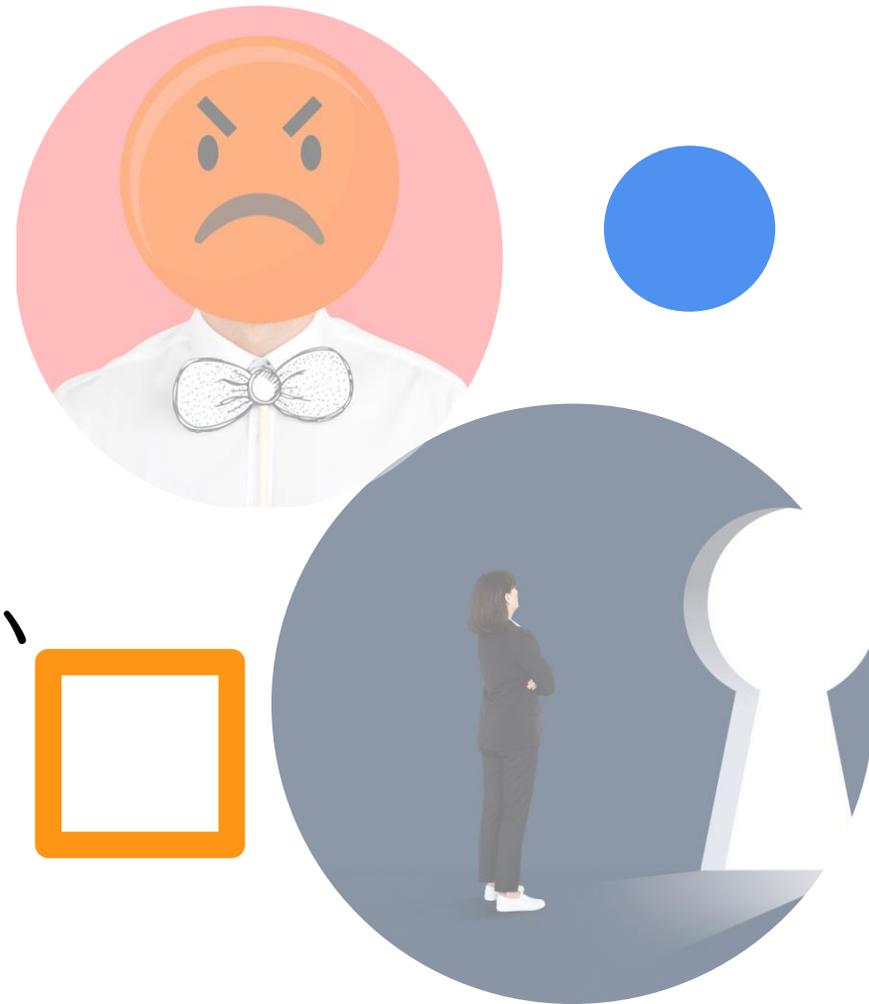
弊社の候補者にお訊ねしています。

2024年の結果をまとめました。

転職の動機

日本語を話す候補者の場合

- 1位 より良いキャリアの機会を得る
- 2位 ネガティブな社風から逃れたい



キャリアアップ&キャリアプラン

- 転職先を探す際の要因としてともに非常に重要
- 60%以上が現在の上司が自分のキャリアプランを用意していないと回答。
これが同時に転職の理由ともなっている



転職先を探す際に最も重視する項目

1位 ライフワークバランス

2位 給与
15%の昇給が目安となる
との回答が60%となった。



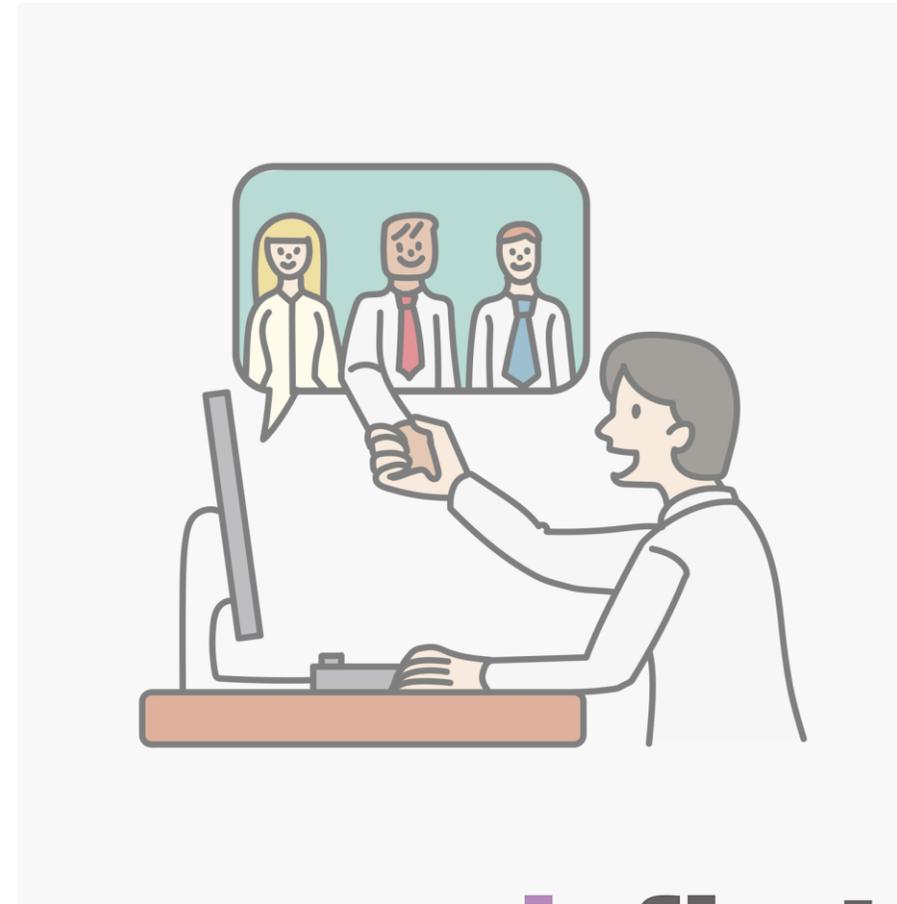
面接の形式

オンライン（1次面接）と対面（2次面接）が最も好まれる形式

「入社前に直接会って会社の雰囲気を得ることができれば最善だと思います。」

AIによる面接を受け入れると回答したのはわずか19%

40%以上が履歴書作成にAI/ChatGPTを利用。



転職活動のプロセスへの希望

1位

面接のフィードバックをタイムリーに得ること

こちらは例年希望が高い項目。採用者は面接の合否を、できれば理由もつけてすみやかに伝えることが必要。



JOB DESCRIPTION

2位

求人情報に給与詳細が記載されていること

米国や欧州では、給与の具体的な数字を公開することが法律で義務付けられており、英国も間もなく同様の規制が始まると予想される。

リモートワークについて

2024年現在、完全フルリモート勤務の候補者は27%
フルタイムのオフィス勤務も同等に27%なのも興味深い。

何らかの形でリモートワークを行っているのが全体の3割程度。
そのうち80%近くが最大週3回オフィスに出社している。

25%の候補者は2023年よりもオフィスに行かなければならなくなったと回答。

転職の際、ハイブリッドであることは引き続き重視され、
60%近くが在宅勤務が可能であることが雇用主を選ぶ際の決め手になると答えた。



まとめ

面接のフィードバックを適切に行う

採用・不採用に関わらず、すみやかに結果の連絡を行い、できればその理由を伝えるようにしましょう。

適切な給与・待遇設定を行う

相場に適した給与で募集することが大切です。優秀な人材を採用したい場合は、市場通りの給与待遇だけでは不足なこともあります。

リモートワークは依然として求職者に人気がある

2024年に入りオフィス出社の回数を増やす企業が増加している印象がありますが、自宅で仕事ができることはやはり求職者にとって大きな魅力の一つです。

キャリアプランを提示

求職者のみならず、現在の従業員にとっても具体的なキャリアプランの提示は有効なものとなります。

内容に関する
ご質問
お問い合わせ

ピープルファースト
チー ジャパン 守中まで

Tel: 07881 015 029

yoko@people-first.co.uk

<https://www.people-first.co.uk/japanese-jobs>

peoplefirst